

一般財団法人MRAハウス
2019年度「日本とアジアの未来」プログラム
第9期 募集要項

I テーマ

「日本とアジアの未来」

II 趣旨

財団法人MRAハウスは、戦後の混乱からの復興を“人種、宗教、信条”の違いを越えて、あらゆる国家、民族、階級間の和解の推進に努めてきました。昭和37年10月小田原市に「アジアセンター」を開設し、アジア各国の指導者・青年との交流や日本の国際化等に様々なプログラムを実施して参りました。(平成18年閉館)

戦争、貧困、自然災害など人類の平和と繁栄への道は21世紀になっても、大きな課題があります。加えて経済のグローバル化、IT革命など高度情報化社会は、国家体制にも影響を与える時代となってきました。超大国アメリカの「アメリカ・ファースト」主義、EU周縁国の政情・信用不安、中国やインド等新興国の台頭、アフリカ・中近東諸国の民主化そして宗教や民族間の対立(独立問題)、さらに大量の難民問題など大きな変化に直面しております。このような現実には、国連など既存の枠組みは機能不全に陥り、人々の貪欲さ等に起因する「政治権益への癒着」や「腐敗」が貧富の格差を増幅し、対立をより激しいものにしていきます。

日本は3.11「東日本大震災」が発生してから8年近くが経過しようとしております。この間にも地震、豪雨、火山の噴火や台風などの自然災害が多発しています。復旧・復興には継続的な取り組みが必要であることは言うまでもありません。長期的な災害に強い「安全システム」の再構築が求められています。

「東京オリンピック」を2020年に控えて、インフラや施設等の準備と選手の強化など様々な準備が進んでいます。「スポーツの祭典」と併せて「平和と希望」を次の世代に伝えるモデル都市「東京」のデザインを描こうではありませんか。大震災から10年後の「日本の姿」を世界に伝える又とないチャンスとなるでしょう。

私共は長年「国際相互理解の増進」や「国際的リーダー、人材育成」、「公正かつ自由な民間公益活動の振興」などに力を注いで参りました。今後もこの様な観点から微力ながら助成事業に取り組んでいくことと致します。

III 助成領域

1. 国際相互理解の増進
2. 国際リーダー、人材育成を図る事業
3. 公正かつ自由な民間公益活動の振興支援

IV 助成金、プロジェクト実施期間

- 1) 助成金総額(年): 3,000万円
 - ① 上限100万円
 - ② 150万円～200万円
 - ③ 特別枠: 300万円
- 2) プロジェクト実施期間: (2019年4月～2020年3月)

V 助成実施要領

別紙